

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	つむぎの里雅錦			
○保護者評価実施期間	2025年7月1日		～	2025年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数)	24名
○従業者評価実施期間	2025年9月1日		～	2025年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月4日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から相談しやすい環境を作り、ご相談いただいた際には速やかかつ丁寧に対応しています。	連絡帳だけでは伝えられないような時は、帰りの送迎時やお電話等で直接お話をさせていただいています。 定期的な面談を実施し、ご家庭や学校での様子を聞き取り、支援に活かすようにしています。	定期面談以外でも、ご要望もしくはこちらが必要と感ずるところがあれば直接お話を伺う機会を積極的に設け、細やかに対応していきます。
2	同グループ内に就労支援施設があり、職場（作業）体験を活動の中に取り入れています。	日々の活動の中に「職場（作業）体験」の機会を設け、早い段階で作業に触れ、慣れることができます。 夏休みなど長期休暇を利用し、各支援施設に直接実習体験に入り、現場の雰囲気を感じてもらえるようにしています。	同グループ内の就労支援施設の情報だけでなく、他の就労支援施設の情報などを収集し、ご家族にフィードバックしていきます。

3	アットホームな環境（職員・場所）で、お子様ののびのびと活動することができています。	学校で頑張ってきている分、デイサービスでは気分をリフレッシュできるように心がけています。（何でもOKではなく、メリハリはつけています）	のびのびするだけではなく、集団でのルールやマナーは守れるような声掛け、支援を心がけていきます。
---	--	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	保護者の方がお仕事をされていたり、日々のお子様への支援の優先度が高くなり、保護者会等を開催する時間の確保が難しい。	各ご家庭の（保護者会等への）ニーズの集約と計画性の確保。ご家族にとって有益と思われる情報については、その都度お電話などでお伝えする。
2	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	自事業所からイベントや交流の場の発信をしていない。 ホームページやSNSを活用できていない。	近所へのお散歩や公園での遊び、買い物体験などで少しでも地域との交流を図っている。 ホームページやSNSを活用し、広く情報提供、情報発信をしていく。
3	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	各種マニュアルを作成しているが、周知する方法が面談時となり、機会が少ない。また、訓練や研修を実施した際の情報提供がない。	マニュアル改定時等はご家族へ周知する。また、面談時に説明を行う。 訓練や研修を実施した際には、手紙等でご家族に通知する。

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表

事業所名		つむぎの里雅錦		公表日 2025年11月11日		回収数 24		利用児童数 24		回収数 24	
		チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		19	4		1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		21	1	1	1	・職員の方、皆さんとても良い方ばかりです。負担を減らす為、もう一人くらいいても良いのでは... ・よく見ていただいていると思います。	職員の人数は多い方が望ましいが、運営の状況等を踏まえても、現状の体制を維持していく予定です。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		22	1		1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		23	1						
適 切 な	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		23	1			・家族の思いを尊重してくださり、落ち着いて過ごさせています。 ・まだ通い出したばかりなので... ・子供から情報を得られないので、職員の方からの面談等による情報共有が有益。 ・どの職員の方も子供の特性を大変理解してくださり、特性に応じた支援を授けられています。	送迎時や連絡帳、面談時などのご家族との話を職員間のミーティングで共有しています。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		24							
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		24				・意見をいつも聞いて、すぐに取り入れようと努力してくださっています。 ・面談の時間を十分にとっていただき、計画に反映していただいている。			

8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23				1	・子供に合った支援がとて細かく設定されています。	
9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24						
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24					・毎月予定が配布され、たくさんのプログラムがあつて楽しそうです。 ・色々なイベントやレクリエーションを	
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	5	12		・保護者（恐らく本人も）ニーズがあまりない。 ・特に必要性は感じない。	
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24						
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24					・年に数回丁寧に教えてくださる。	
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	5	2	9		・なかなか出席出来ませんが、色々なイベントをやっています。 ・定期利用になっていないので不明。	ご家族への情報提供は、送迎時や連絡帳、定期の面談時にさせていただきます。
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23			1		・送迎の際、詳しく伝えてくださる。 ・毎回ノートに様子をわかりやすく、丁寧に書いて知らせていただいています。 ・定期利用になっていないので不明。	
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24					・時には支援日でない日でも何かあれば気軽に相談できている。 ・常に相談に乗ってくくださり、色々なアドバイスをいただいています。 ・家族の気持ちを考え、寄り添ってくれている。 ・職員皆まから、積極的に支援をされていると思います。	学校卒業後の進路など、グループ内の就労支援施設の見学などをご希望の方に随時行っています。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23				1		

の 説 明 等

18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだいの向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	3		4	5	12		現状、保護者会などは開催していません。今後もアンケート結果をもとに判断させていただきますと考えています。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22				2	・子供の状態に対して適切に対応していただいています。 ・いつでも相談できる空気を作ってください、とても相談しやすい。 ・相談には常に迅速かつ適切に対応していただいています。	ご意見やご相談については迅速に対応（電話や送迎時、面談時など）するように心掛けています。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24					・連絡帳や送迎時。 ・いつも詳しく丁寧に送迎時や連絡帳や電話などで情報を伝えてくださっています。	支援中にあった出来事についても、必要であればご家族と情報共有を図るように心掛けています。
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	2	1	3			
22	個人情報情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24						
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	1			1		
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22				2	・この事業所よりも手厚く行っている。 ・防災セットの保管管理もしていただき、安心できています。	防災セットを各ご家庭で用意してもらい、ご利用者様個人個人で必要な物を保管させていただきます。
25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22				2		
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22				2	・細かい事も詳細に教えてくれるので、とても信頼している。 ・調査票にて対応を共有。	怪我だけではなく、他児とのトラブル等があった場合はご家族に報告するように心掛けています。
27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24					・安心して通えています。 ・安心できているので、自分も全部出しています。	お子さんが通所されている間、ご家族が安心してご自分の時間を過ごすことができるようにしたいと考えています。

非 常 時 等 の 対 応

満 足 度

28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24						・長期休みはお出かけ等、連れて行ってくださり、室内だけでなく、散歩や公園、その他外出させていただけるとは、リフレッシュできてありがたいです。 ・どの職員の方も優しく、とても話しやすいので、相談しやすい。細かい面までサポートしてくだざり、大変満足している。 ・職員の皆様に支えていただき、親子共々大変満足しています。	
29	事業所の支援に満足していますか。	24							

事業所における自己評価結果

公表

公表日 2025年11月11日

事業所名	つむぎの里雅錦	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		● 個々の利用者の特性に合わせ、場合によっては確立を立てるなど、個別の対応ができるように配慮しています。	● 引き続き、安心・安全な環境づくりを心がけていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		● 基準人員に加え、児童指導員を多く配置しています。	● できるだけ多くの職員で支援に当たることができることが望ましいが、運営面等考えると難しい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		● 各自、自分の荷物を置く場所に名前を表示するなど、本人が理解しやすい環境を整えています。 ● トイレや室内など、バリアフリー化をしています。	● 引き続き、わかりやすく、過ごしやすい環境となるように配慮していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		● 営業終了後、もしくは営業開始前に毎日必ず清掃及び消毒を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		● 個々の利用者の特性に合わせ、場合によっては確立を立てるなど、個別の対応ができるように配慮しています。また、過度な興奮などが見られた際にクールダウンをするための部屋（相談室）を用意しています。	● 別室での対応は、職員の目が分散するという懸念がある為、出入口の施設などの管理をしっかりと行っています。
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		● ミーティングを行った際に情報共有を図っています。	● 引き続き、PDCAサイクルを心がけ、現状把握と課題の共有に努めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		● 年1回、保護者へ向けた事業所評価アンケートを実施しています。	

8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		●ミーディングにて意見交換を行い、検討・改善に努めています。	●意見の出しやすい雰囲気づくりをすることで、意見交換を充実させていきます。
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	●現在は利用者と職員のみの評価となっており、第三者による評価は実施していません。	●第三者評価の実施については今後の検討課題としてまいります。
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5		●オンライン（シエンシー）による研修を各職員が実施し、定期的に職員研修を行い、支援の質を高めるように努めています。	●引き継ぎ、職員の支援の質の向上に努めてまいります。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		●支援プログラムをインターネットのホームページにて公表しています。	
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		●定期的な面談を行い、アセスメントを実施した上で、利用者本人や保護者のニーズを聞き取り、支援計画に反映しています。	●引き継ぎ、包括的な支援と具体的なプログラムの作成に努めてまいります。
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		●全職員が施設内での話し合いに参加し、情報共有を図っています。	●職員間の共通理解を深める為、ミーティングの質を向上させてまいります。
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		●支援後（又は支援前）にミーディングを行い、支援の振り返り等を行っています。また、職員が個別支援計画をいつでも閲覧することができるようになっています。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		●定期的に保護者との面談を行い、ニーズを把握すると共に、本人の行動観察を行っています。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		●放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に沿った支援内容を踏まえて個別支援計画に反映・設定しています。	●引き継ぎ、お子さんの特性や発達状況を踏まえ、5領域に関する具体的な支援内容を設定してまいります。

17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		5	●担当職員が原案を作成し、職員間で共有しています。 ●都度レグリエーションの記録を作成し、振り返りを実施しています。	●引き続き、プログラムの方向性、ねらいや関わり方を共有する場を設け、多角的な視点を持ってプログラムを立案するように努めてまいります。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		5	●曜日毎に内容を固定するのではなく、まんべんなく色々な活動に参加できるように活動プログラムを作成しています。（※継続することで、少しずつできることが増えていくという実感を得てもらえるように配慮している）	●引き続き、お子さん一人ひとりに合わせたプログラム立案に努めてまいります。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		5	●一人ひとりの特性や発達状況に応じ、集団や個別の活動を行うことを想定して個別支援計画を作成し、支援を行っています。	●引き続き、個々のニーズと集団におけるニーズを踏まえた支援計画の作成と支援に努めてまいります。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		5	●毎日、職員ミーティングを実施し、前日の支援の振り返りと当日の支援の内容や注重点、職員の役割などを話し合っています。	●発言する人が限られてしまったり、表面的な部分の話し合いになってしまっていることがある為、より質の高いミーティングにしていきたいと思っています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		●送迎業務等があり、残業が増えてしまっていることがある為、緊急の場合を除き、翌日に振り返り等を行っています。（事務作業中に振り返りを実施することもあります）	●今後も質の高いミーティングを実施し、支援に活かしてまいります。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		5	●日々の支援について、個別状況の記録を行っています。	●今後も課題の整理等、支援の検証と改善に努めてまいります。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し・必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		5	●概ね6か月に一度、保護者との面談を実施し、個別支援計画の見直しを行っています。	●より広く職員が参画できるようにモニタリングを実施していきます。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。		5	●放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を含めて支援を行っています。	●引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。		5	●活動の中で、その活動自体をお子様がやる、やらななどの選択ができるように配慮しています。やらな場合は、どうしたいのか意思表示ができるような機会を設けています。	●引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		5	●サービス担当者会議や関係機関との会議は、基本的に児童発達支援管理責任者が出席をしています。	●会議の内容等を職員に周知し、情報の共有を図っていきます。

関係機関や保護者との連携

27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	●必要に応じて、相談支援事業所や他のサービスと連携し、支援に当たっています。	●内容を全職員に周知し、情報の共有を図っていきます。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	●年間計画や下校時刻等の確認については、学校引継ぎ時では十分な時間が確保できない為、基本的に学校のホームページを見て確認をしています。万が一、送迎時間等に間違いがあった場合は速やかに対応し、ご家族にも報告をしています。	●内容を全職員に周知し、情報の共有を図っていきます。
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		●基本的に中学生、高校生の利用者様が多く、小学生は高学年（4年生～）としている為、保育所等との情報共有は図っていません。必要であればご家族から面談等で様子を伺っています。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	●必要に応じて、出来る限り伝達するように配慮しています。また、同グループ内の就労支援施設に通所することになった場合は、その都度細かく状況等を説明しています。	●必要に応じて、積極的に情報提供を行っています。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		●現状、機会はほとんどありませんが、必要に応じて対応していきます。	●内容を全職員に周知し、情報の共有を図っていきます。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	●本アングレート等でもニーズは高く感じている為、現在のところ全くありません。また、放課後の時間は活動時間も短く、準備等を考えると現実的ではないと感じています。	●今後は必要に応じて、実施を検討いたします。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		●現在のところ参加はしていません。	●今後は必要に応じて、実施を検討いたします。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		●連絡帳だけでは不十分なことについては、送迎時やお電話、面談等でお話をさせていただき、共通の理解を得られるようにしています。	●今後も相談がしやすい関係性の構築に努めてまいります。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	●家庭内での様子の聞き取りを行い、相談への助言は個別に対応させていただいています。	●今後も相談がしやすい関係性の構築に努めてまいります。

36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		●契約時に行っています。	●今後も丁寧な説明に努めてまいります。
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		●作成時には、ご家族やご本人（可能な場合は）の要望等を聞き取り作成をしています。	●今後も意見や要望の確認をしながら、丁寧に作成してまいります。
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		●計画作成後に内容の説明、同意をいただいています。	●今後も丁寧な説明に努めてまいります。
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		●ご家族の方とのコミュニケーションを密に取り、相談しやすい関係性の構築に努めています。	●今後も相談がしやすい関係性の構築に努めてまいります。
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	5	●本アンケート等でもニーズは高くないと感じている為、現在のところ行っていない。今後の状況に応じて対応していきます。	●今後必要に応じて、実施を検討いたします。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		●契約時に苦情相談窓口を設置していることを周知しています。苦情やご要望があった場合は、出来る限り速やかに対応することを心がけています。	●相談や苦情等があった場合は、迅速かつ適切な対応をしております。
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		●毎月、活動の予定表（夏季休暇等、昼食の提供がある場合は献立表も合わせて）を配布しています。	●ホームページなどを活用し、よりタイムリーに分かりやすい情報発信ができるようにしていきます。
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		●いただいた個人情報については、鍵付きの書庫に保管し、持ち出しができないようにしています。	●今後も個人情報の管理については徹底して対応してまいります。
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		●発語に課題があるお子さんに対しては、マカトンサインやひらがなボードなどを活用して意思疎通を図っています。場合によっては発語の練習をして、発語を促すようなケースもあります。	●引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。

非常時等の対応

45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。		5	●活動の中でお店に買い物に出かけたり、近隣の公園で遊ぶなどをしています。	●今後も地域に関わられた事業所運営ができるように努めてまいります。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		●各マニュアルを用意し、玄関に掲示しています。また、面談等でご説明をさせていただいています。	●今後も訓練や研修の実施、定期的に見直しを実施してまいります。
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		●業務継続計画（BCP）を策定し、定期的に避難訓練や研修等を行っています。	●引き続き、訓練・研修の実施と内容の周知を行っています。
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		●契約時にお子様の状況を確認しています。服薬については、与薬指示書を提出していただく場合があります。てんかん発作については、必要であれば記録を取り、ご家族に提供しています。	●引き続きより良い支援ができるように努めてまいります。
49	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		●保険調査を毎年実施し、確認を行っています。昼食発注時にアレルギーの確認及び、おやつのアレルギーの確認は都度行っています。	●今後も事故が起こらないよう、複数のチェック体制を構築していきます。
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		●安全計画を作成し、定期的な訓練や研修を実施しています。	●引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		●避難訓練等を実施した際には、連絡帳や帰宅時の送迎の際に直接お伝えさせていただいています。	●引き続き、内容の周知を図っていきます。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		●大きな事故になっていないことでも、危険と思われることが発生した際は「インシデント・アクシデント記録」を作成し、職員全体で共有しています。	●引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		●オンライン研修や、虐待防止委員会後に職員間で研修を行い、虐待防止に努めています。	●引き続き、研修や虐待防止委員会との連携を密にし、虐待が起こらない環境を作っていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		●どのような場合にやむを得ず身体拘束等を行うかを職員ミーティングで情報共有をしています。また、ご家族にはその旨を説明した後、同意書をご提出していただいています。	●今後も、必要な場合は十分に検討し、丁寧な説明を行い、身体拘束の適正化に努めてまいります。